

学校向け 不登校予防カルテサービス

不登校対策AIにより
生徒たちの不登校兆候を
一覧・個別に定量化します。



Before

- ・生徒の悩みを知る機会が少ない
- ・長期欠席になってから対応
- ・不登校の家庭との話し合いが平行線



After

- ・生徒自身の声からストレスを把握
- ・登校できている時点で早期対応
- ・第三者のレポートを参考に対話可能

不登校になる前に
フォローしたい

お任せください

生徒ごとの不登校への潜在可能性を計測しますので、普段の様子と合わせて優先度の高い生徒へ早期介入することができます。生徒と話す際も、カルテの内容を切り口としてのヒアリングが可能となります。

学校と家庭のどちらに
悩んでいるのか知りたい

お任せください

不登校対策AI™がアンケート結果から4つの要因（①学校関連のストレス ②人間関係 ③家庭への依存 ④非行の傾向）に分類してカルテを作成するため、学校内外のどこに原因があるのか把握しやすくなります。

業務負荷を
増やしたくない

お任せください

教員の方には、生徒のタブレットなどを通してアンケート回収を願いますが、それ以外の作業やシステム導入は不要です。また納品したカルテに関するご質問などにもサポートいたします。

料金

対象：50名まで／120,000円（以降、50名ごとに30,000円）

不登校に悩む生徒たちを一人でも減らし、笑顔を取り戻すことを使命としています。



当社は、認知行動療法や海外の先行事例を基に、不登校の予防と再登校支援サービスを提供する企業です。

代表の子どもが不登校になった経験を発端として、年々増加する不登校の問題、家庭や学校が早期に対応することが難しい現状、そして不登校の予防が保護者や教員の属人的な努力に委ねられがちになる課題を解決するために、このサービスを立ち上げました。

導入いただいた学校様からは、『見えていなかった生徒の悩みに対処できた』『生徒見守りの負担軽減につながる』とご好評をいただいております。生徒たちの状態を別の角度から捉えることで、教員の皆様の豊富な経験や指導力をより活かせるよう務めたいと考えております。

トーコ
ToCo株式会社

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23番17号

お問い合わせ、お申込みはこちらから

トーコ 学校向けカルテ



<https://toco.mom/school/>



生徒別カルテサンプル

School Report

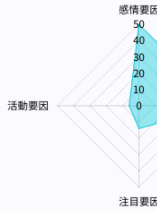
□□中学校 1-A □□様

回答日 2024/6/5

● 不登校への潜在可能性



● ストレス要因



感情要因	50点	学校に関連する物事に対して否定的な感情やストレスを抱えている度合い
行動要因	50点	学校での対人関係や友達との少ない、人前での発表などで苦しんでいる度合い
注目要因	14点	親に注目してもらいたい、家族から離れたくないという依存の度合い
活動要因	6点	学校以外の場所で活動したり、楽しみたいという思いが強い度合い

● 総括

今回のアンケート結果から、不登校要因として「感情要因」と「対人要因」のスコアが他の要因に比べて顕著に高く、不登校リスクに最も影響を与えていると考えられます。「感情要因」と「対人要因」はそれぞれ50点のスコアで、学校生活において特に不安や緊張、悲しさといった否定的な感情や、人間関係での困難が生徒の心に大きくのしかかっている状況が浮き彫りになっています。特に、友人関係がうまくいかないことや、学校での対人場面で強いストレスを感じている様子が見受けられます。また、注目要因や活動要因は比較的低いスコアであり、親への依存心や学校外での活動意欲が不登校の要因としては大きくないことが示されています。これにより、不登校リスクは30%と中程度の可能性が示唆されますが、感情的なストレスや人間関係の課題が積み重なることで、そのリスクが高まることが予想されます。

特に高いスコアが見られた設問から、生徒は学校に行くことそのものに対する抵抗や、対人場面での孤独感や疎外感を抱いている可能性があります。自由回答においても、グループ作りや意思疎通の難しさといった点が強調されており、学校内での人間関係やコミュニケーションに対する悩みが顕著であることがわかります。全体としては、学校生活そのものに対するストレスと、他者との接触における不安が複合的に影響し、不登校リスクに繋がっていると考えられます。

● 感情要因

感情要因は「50点」となっており、学校に関連する物事に対する否定的な感情が生徒に強く影響している様子が伺えます。具体的には、学校での活動や出来事が嫌な気持ちになる「学校に関係する事柄で否定的な気持ちが湧く」などの設問で高いスコアが示されています。このことから、学校生活に対する不安感や緊張感が日常生活にも波及し、登校する意欲を削いでいる可能性があります。また、学校での活動が引き金となり、悲しみや憂鬱といった感情が頻繁に生じる状況は、生徒の精神的な安定に大きな影響を与えていることが考えられます。

● 行動要因

対人要因も「50点」と高く、友人関係や人前での活動に対する苦手意識が不登校要因として大きな影響を与えています。具体的には、「学校で仲の良い友達が少ない」「他の生徒と話すことが難しい」といった設問において高いスコアが見られ、対人関係に対する負担感が強調されています。自由回答においても、グループ作りや話の伝達がうまくいかないことに対する不満や辛さが表現されており、生徒が周囲の人とコミュニケーションを図る上でのハードルが大きいことが伺えます。また、「皆の前に立つと恥ずかしいと感じる」など、人前に立つことへの苦手意識も不登校リスクを高める要因となっています。

● 注目要因

注目要因は「14点」と低く、家族や親に対する依存や注目を求める気持ちは不登校に直接影響を与える要因ではないことが示唆されています。「学校に行くより親と一緒にいたい」という気持ちは多少見られるものの、家庭に強い依存を持っているわけではなく、登校拒否の動機としては小さな要素となっています。これは、家庭からのサポートに安心感を抱いているものの、過度に依存しているわけではないことを示していると考えられます。

● 活動要因

活動要因は「6点」と最も低く、学校外での活動や遊びを優先する気持ちは、不登校の要因としてはほとんど見られない結果となっています。これは、学校生活以外の活動に興味を持ちつつも、それが登校意欲に影響を与えるほどではないことを示しており、不登校に繋がる要因としては軽微です。生徒は学校外の活動に対する欲求がそれほど強くなく、学校生活を通じた成長や交流に価値を感じている可能性もあります。

● 個別要因（上位10位まで）

対人要因	同じ年の子と比べて学校の人々を避けることは、どのくらいありますか？	83
感情要因	土日に学校について考えると嫌な気持ち(恐い、緊張する、悲しいなど)になることは、どのくらいありますか？	83
感情要因	学校に関係のあること(テスト、先生、プール、電車やバスなど)で、嫌な気持ちになることは多いですか？	67
対人要因	学校で他の子と話すことは、どれくらい大変だと感じますか？	67
感情要因	学校で悲しい気持ちや憂鬱な気持ちになることは、どのくらいありますか？	67
対人要因	新しい友だちを作りたいとどれくらい強く思っていますか？	67
注目要因	学校に行くより親と一緒にいたいと思うことは、どのくらいありますか？	33
対人要因	学校で皆の前に立つと恥ずかしいと感じることは、どのくらいありますか？	33
感情要因	家で誰かと一緒にいる時と比べて、学校にいる時の方が嫌な気持ち(恐い、緊張する、悲しいなど)になることは、どのくらいありますか？	33
感情要因	学校についての嫌な気持ち(恐い、緊張する、悲しいなど)で、登校したくないと思う時はありますか？	33

Copyright © 2024 ToCo Inc. All rights reserved.

トーコ
ToCo株式会社

お問い合わせ、お申込みはこちらから

トーコ 学校向けカルテ <https://toco.mom/school/>

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23番17号

